山陽小野田市立山口東京理科大学大学院 工学研究科
 博士後期課程 学位論文評価基準

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、工学研究科博士後期課程における学位論文の評価基準を次のとおり定める。

○審査基準

専攻	審査基準
工学専攻	<p>博士(理学)</p> <p>研究背景と解決すべき問題に関する明確な理解、実験データや調査結果に関する適正な解析と解釈、明快な論理的展開等に関する実績に基づく総合的な評価基準を満たし、当該分野の学術的基礎あるいは応用や関連する産業の発展等に寄与する一定の内容を包含しているかを審査する。</p> <p>博士(工学)</p> <p>研究課題が学術的、社会的に価値があり、関連分野への貢献が期待できるものであること、研究対象となる問題の設定や研究方法、研究内容について独創性があること、関連する先行研究に適切に言及していること、テーマに応じた研究・分析・評価結果及び関連資料を用いて論理的かつ明快に展開され、合理的な結論が導き出されていることを審査する。</p>

○審査体制・評価方法・評価項目・評価基準

審査体制	学位論文の審査及び最終試験は、主査1名、副査4名以上の計5名以上からなる学位論文審査委員の合議により行う。
評価方法	学位審査委員は、審査項目を基に論文審査及び最終試験を行う。論文審査及び最終試験は、論文審査出願者ごとに発表及び口頭試問により行う。
評価項目	<p>(1) 研究目的 関連の先行研究を適切に引用し、研究の背景と目的が適切に述べられていること。</p> <p>(2) 論文の体裁 論文の記述（本文、図、表、引用など）が十分かつ適切であり、結論に至るまで首尾一貫した論理構成になっており、論理的に明確な結論が導かれていること。</p> <p>(3) 研究方法目的に沿った研究方法、調査・実験方法、論証方法を採</p>

	<p>用し、具体的な分析・考察がなされており、研究結果を再現できるだけの具体的な情報を含んでいること。</p> <p>(4) 研究成果</p> <p>学位論文の内容に十分な独自性があり、当該研究分野の進歩に寄与すると認められる学術的な意義・価値があること。</p>
評価基準	論文審査及び最終試験は、合否により評価する。